ELECOM

Bluetooth Ver.4.0
Bluetooth ヘッドセット
取扱説明書
Vo.1

LBT-MPHS510シリーズ、LBT-PCHS510シリーズ

※この取扱説明書では、特に断りの無い限りは製品名を代表して「LBT-HS510」と表記しています。
各シリーズの違いはパッケージのみで、動作は共通です。

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書はBluetoothヘッドセットの使用方法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書をいつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

接続のときに必要な情報です

●携帯電話やパソコンなどから検索するときの本製品の名称	LBT-HS510
●入力を求められた際に必要なパスキー	0000（ゼロ4つ）

※パスキーはBluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合は省略できる場合があります。

各部の名称とはたらき

マルチファンクションボタン	電源のオン / オフ、ペアリング、受話 / 終話などに使うボタンです。
音量調整ボタン	音量を大きくするときは＋を押し、音量を小さくするときは－を押します。
通話用マイク	ハンズフリーで使用するマイクです。
サブマイク	周囲の音を検出してノイズを低減します。ノイズ低減効果が悪くなりますので、シールなどでふさがないでください。
NFC アンテナ	NFCを搭載している機器と接続する場合、タッチのみで簡単にペアリングができます。(内部にあるので外観からはわかりません)
イヤーフック	付け替えると、左右の耳に対応できます
イヤーパッド	お買い上げのときには (S) サイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のイヤーピース(M)(L)に交換してください。
LED ランプ	電源やペアリングの状態を示す赤、青2色のLED ランプです。
充電コネクタ	充電するときに、付属の USB ケーブルを差し込みます。

耳への装着方法を変える

付属のイヤーフックは、本体から取り外すことができます。イヤーフックを使用せず、イヤフォンを耳に差し込むだけでもお使いいただけます。

イヤーフックの装着について

イヤーフックは、お好みの位置に回転させると、装着位置を調整できます。また、反対向きに取り付けることで、左右どちらの耳にも装着しやすい向きにできます。

左耳に装着する場合

右耳に装着する場合

※マイクを口元に向けないと、相手に声が伝わりにくくなる可能性があります。

■主要操作一覧

機能・状態	操作	LED 表示
電源オン	電源がオフのときに、マルチファンクションボタンを約4秒間長押し	消灯→青色で 3 回点滅
電源オフ	電源がオンのときに、マルチファンクションボタンを約4秒間長押し	赤色で点滅→消灯
充電中	—	赤色に点灯
充電完了	—	青色に点灯
バッテリー容量不足	—	30 秒ごとに 3 回点滅
ペアリングモード	電源がオフのときに、マルチファンクションボタンを8秒以上長押し	赤色と青色で交互に点滅
ペアリング完了	—	ゆるやかに青色で点滅
音量調節	音量調整ボタンの＋または－を押す ※音楽再生時は音楽の音量が変化します	—
再生開始 / 停止	音楽再生時、マルチファンクションボタンを押す	—
曲送り / 曲戻し	音楽再生中に音量調整ボタンの＋長押しで曲送り、－長押しで曲戻し	—
電話を受ける / 切る	電話着信時、通話中にマルチファンクションボタンを1回押す	—
着信拒否	電話着信時に、マルチファンクションボタンを2秒程度長押し	—
リダイヤル	音量調整ボタンの＋または－を長押し	—

本製品の使い方

お使いになる前に

本製品は、お使いになる前に充電をしておく必要があります。
充電には付属のUSB充電ケーブルを使用します。

充電について
充電時間：約2時間 ※
充電が完了し、LEDが青色に点灯したら充電ケーブルを取り外してください。
安全のために、充電終了後の通電を避けることを推奨します。
また、充電中は本製品を使用しないでください。
※充電時間は、接続するUSBポートの出力によって異なります。

1 本製品にUSB充電ケーブルを接続する
付属のUSB充電ケーブルのマイクロUSBコネクタを、製品本体の充電コネクタに接続します。

2 パソコンにUSB充電ケーブルを接続する
付属のUSB充電ケーブルのシリーズAコネクタを、パソコンのUSBポートに接続します。
充電中はLEDランプが赤色に点灯します。

3 LEDランプが青色に点灯したら充電完了です

［充電時の接続図］

●コネクタの向きに注意して接続します（逆向きには接続できません）。
●パソコンの電源が入っていないと、電力が供給されません。電源を入れてください。
●パソコン以外のUSB-ACアダプタやUSBシガーチャージャーでも充電できます。
推奨製品　エレコム社製USB-ACアダプタ　・AVA-ACUシリーズ　・AVA-PA10ACUシリーズ
ロジテック社製USBシガーチャージャー　・LPA-CC2U01　・LPA-CC2U02S

ペアリング（機器への初期登録）の方法

本製品をお手持ちの携帯電話やスマートフォンで使用するためには、お手持ちの機器とペアリング（本製品を機器に初期登録する操作）を行なう必要があります。
ご使用になる接続先機器側の操作については、別紙「**簡単接続ガイド**」をご覧いただくか、お手持ちの携帯電話やスマートフォンの取扱説明書をお読みください。

NFC対応機器へのペアリング

本製品は、NFCに対応したスマートフォンに製品の電源OFFにした状態でかざすだけでペアリングできます。
① スマートフォンのNFC機能をオンにし、ホーム画面を表示します。
② スマートフォンのNFCアンテナ部分をサブマイクの下に近づけます。
③ スマートフォンの画面上に「NFC Connected」と表示されれば、ペアリング完了です。
※機器により表示されるメッセージが異なる場合は、表示された指示にしたがって操作してください。

●本製品の使用には、接続機器が次の条件を満たしている必要があります。
→NFC対応のAndroid端末。
●NFCが反応しない場合は、かざす位置をずらすなどして、「NFC Connected」と表示されるよう調整してください。
●NFCでのペアリングに何度も失敗する場合は、通常の方法でペアリングしてください。

詳しくは弊社へWebサイトを参照ください。

右上の手順に続きます ⬆

●ペアリング情報は8台まで記憶できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
●ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
●本製品は「Bluetooth 4.0」に準拠しています。Bluetooth 2.1以降の規格の機器と接続する場合はパスキーの入力を省略できる場合があります。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする
本製品の「電源がオフの状態」から、マルチファンクションボタンを8秒以上押し続けます。
LEDランプが赤⇔青交互に点滅し、ペアリングモードになります。

赤⇔青 交互点滅（ペアリング中）

●意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。
●すでにペアリング済みの機器が周囲にある場合は、LEDが青色に点灯したらボタンから手を離してかまいません。機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続します。
●ペアリングしたい機器によっては、あらかじめ機器側で「LBT-HS510からの通信を許可する操作」が必要です。

2 接続先機器からヘッドセットを検索
ペアリングしたい機器(携帯電話やパソコンなど)から、本製品を検索します。
検索方法はご使用の機器によって異なります。接続先機器側の操作については、別紙「**簡単接続ガイド**」をご覧いただくか、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

3 接続先機器にヘッドセットを登録
携帯電話やパソコンなどから本製品が見つかると、デバイス名「LBT-HS510」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。
携帯電話側で「ハンズフリー」や「ヘッドセット」のいずれかで接続するように表示された場合は、「ハンズフリー」で接続をしてください
LEDランプが青色のゆるやかな点滅（2秒に1回の点滅）に変わると、ペアリングの完了です。

※LEDランプが赤色で点滅の場合、接続がされていません。再度ペアリングを試みてください。

●パスキーの入力を促すメッセージが表示された場合は、「0000」（ゼロ 4つ）と入力します。
機器によっては（Bluetooth 2.1 対応機器）、パスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。
●機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をしてください。

基本操作

電源のオン／オフ

■電源をオンにする
電源がオフの状態で本製品のマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、LEDが青色に3回点滅して電源がオンになります。すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。接続が完了すると、LEDは青色のゆるやかな点滅に変わり、機器が使用できるようになります。
※携帯電話より「LBT-HS510からの接続を許可する」操作や、接続操作が必要な場合があります。

■電源をオフにする
電源がオンの状態で本製品のマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、LEDが赤色に点滅したあと消灯して電源がオフになります。

オートパワーオフ機能について
携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をオンにしたあと、ペアリング相手がいない場合、約6分後に電源がオフになります。電源がオンの間は、LEDは青色に点灯します。

音楽を聴く

本製品は A2DP（オーディオプロファイル）に対応しているため、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽やスマートフォンのナビ音声等を聴くことができます。
また、SCMS-T 方式のコンテンツ保護にも対応しており、ワンセグ TV の音声を聴くことができます。

■音楽の再生/停止
音楽再生時にマルチファンクションボタンを押します。

■音量を調整する
本製品の音量調整ボタンでおこないます。本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。

■曲送り/曲戻し
音楽再生中に、音楽再生中に音量調整ボタンの＋または－を長押しします。
音量調整ボタンの＋：曲送り　音量調整ボタンの－：曲戻し
※ 接続先の機器により機能しない場合があります。

右上の手順に続きます ⬆

携帯電話などで通話する

携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。

■電話を受ける
ヘッドセットから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを1回押します。
※携帯電話の仕様上、Bluetoothヘッドセットに着信メロディは設定できません。

■電話を切る
通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。

■リダイヤルする（最後に発信した通話先）
音量調整ボタンの＋を1回長押しします。
※着信した相手へのリダイヤルはできません。

■発信する
任意の相手先に発信する場合は、ご使用の携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。

<操作例>

種類	操作方法
iPhone	音声出力先に本製品 (LBT-HS510) を選択します。
Android	発信後に、Menu を表示させ、「Bluetooth」ボタンを押します。
docomo	携帯電話で発信後、「通話」ボタンを長押しします。
au	携帯電話で発信後、携帯電話の「EZ」ボタンを押します。
Softbank	携帯電話の機種によって異なります。接続される機器の説明書を参照してください。

※発信後の切り替え方法については、接続した携帯電話に依存します。上記の方法で切り替えができない場合は携帯電話のメーカーに相談、または携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

■音量を調整する
本製品の音量調整ボタンを使用します。
音量を大きくする時は、音量調整ボタンの＋を押し、音量を小さくする時は－を押します。
音量を最大にしても希望の音量にならないときは、ペアリングした機器の音量を調整してください。

パソコンで音声チャットをする

パソコンで音声チャットする場合は、パソコン側で通話開始／終了の操作をします。
音声チャットの開始／終了および設定方法は、ご使用のソフトウェアやOSにより異なります。
詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルやオンラインヘルプをお読みください。

マルチポイント機能を設定するときは･･･

マルチポイントとは本製品1台で、2台の携帯電話を待ち受ける機能です。
会社用と個人用など携帯電話が2台あるときに便利です。

●携帯電話2台でのみ使える機能です。パソコンやゲーム機との同時待ち受けはできません。
●すべてのBluetooth対応の携帯電話、およびスマートフォンの組み合わせ動作を保証するものではありません。
●マルチポイントは同時通話（3者間通話）の機能ではありません。

■マルチポイントのペアリング手順
※1台目の携帯電話は、左記の手順でペアリングされていることを前提にしています。

※⑨の手順でヘッドセットの電源がONになると、ヘッドセットが両方の携帯電話に接続され、ともに待ち受けが可能な状態になります。

■着信時の受話のしかた
着信中に本製品のマルチファンクションボタンを押すと、着信中の携帯電話側の通話ができます。このとき2台目の携帯電話との接続は維持され、状況によって下記のような動作になります。

●着信（呼び出し）中にもう1台の携帯電話にも着信した場合
→後から着信した側の通話は、本製品からの操作からでは開始できません。

●通話中にもう1台の携帯電話にも着信した場合
→本製品のイヤホンから着信を知らせる音が聞こえます。
・ マルチファンクションボタンを2回連続して押すと、1台目の携帯電話は保留になり、2台目の携帯電話と通話が始まります。
・ マルチファンクションボタンを2回連続して押すと、通話中の携帯電話が保留になり、保留されていた携帯電話との通話が始まります。通話相手が通話を切ると、保留中の携帯電話との通話が再開します。通話が終了すると、2台とも待ち受け状態に戻ります。
※ 携帯電話によっては本製品からの終話ができないことがあります。通話相手に通話を切ってもらうか、携帯電話を操作して通話を終了してください。

■発信（リダイアルを含む）について
音量調整ボタンの＋または－を長押しで最終通話履歴へリダイヤルされます。
音量調整ボタンの＋：1台目の携帯電話　音量調整ボタンの－：2台目の携帯電話
携帯電話、スマートフォンにロックがかかっていると、リダイヤル発信しない場合があります。

裏面の「取り扱い上の注意」や「困ったときは･･･」もご参照ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下の物が含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- □ ヘッドセット本体 ………… 1台
- □ イヤーパッド(S/M/Lサイズ)※Sはイヤホンに付属 ………… 各1個(合計3個)
- □ イヤーフック ………… 1個
- □ USB充電ケーブル ………… 1本
- □ 取扱説明書、保証書 ………… 本書
- □ 簡単接続ガイド ………… 1部

重要なご注意

付属のUSB充電ケーブルは本製品専用です。本製品の充電以外に利用しないでください。コネクタ形状が同じでも、ピンアサインが異なることがあり、故障の原因となります。同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

基本仕様

製品仕様		LBT-MPHS510 シリーズ　LBT-PCHS510 シリーズ
Bluetooth 仕様		Bluetooth 4.0準拠
キャリア周波数		2.4 GHz帯
周波数拡散方式		FHSS（周波数ホッピング方式スペクトラム拡散）
伝送距離		最大半径 約10m（障害物がない場合）class 2 ※1
対応プロファイル		HFP/HSP（通話機能）A2DP（音楽機能）AVRCP（リモコン機能）
SCMS-T		対応
記憶可能なペアリング機器台数		8台
連続待受時間		最大115時間 ※2
連続音楽再生／連続通話時間		約5時間／約6時間 ※2
環境条件	動作時温度 / 湿度	温度 5 ～ 35℃／湿度 0 ～ 80%（ただし結露なきこと）
	保管時温度 / 湿度	温度 -10 ～ +50℃／湿度 0 ～ 80%（ただし結露なきこと）
外形寸法(幅×高さ×奥行)		18.0 × 28.0×64.0mm（突起部分、イヤーフックを除く）
質量		約8g
保証期間		1年間

※1 距離は、通信するBluetooth機器の性能やそれぞれのバッテリー残量、周囲の環境に依存します。
※2 通信するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために待ち受け/通話/再生時間が短くなる場合があります。

- 2.4GHz帯を使用する無線LAN(IEEE802.11g/b/n)との併用は、電波干渉の発生により利用できない場合があります。
- 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

取り扱い上の注意

■正しくお使いいただく前に

本製品を正しくお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

●車の運転中には使用しないでください
車の運転中にはヘッドセットを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

●万一、異常が発生したときは
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
車の中には絶対に放置しないでください。本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。
また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。また、必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合も、いったん充電ケーブルを取り外してください
所定の充電時間を超えて充電した場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

●着信音量の設定には十分気をつけてください
携帯電話と接続して使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

●分解しないでください
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

●接続に使用するコードを傷つけないでください
火災や断線の原因となります。

●病院内や航空機の中などでは使用しないでください
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を負う恐れがある項目です。

●屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください
屋外で使用する際は、周りの状況がわかるように音量を適度に調整してご使用ください。また、交通量の多い道路など安全に注意が必要な場所での使用は避けてください。

●水気の多い場所での使用／保管はしないでください。
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●小さなお子様の手の届くところに保管しないでください
誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

●本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください

●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください
ご使用の車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください
発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください
本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●定期的に充電してください
本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に1度を目安に充電してください。
バッテリーが膨張したり、劣化の原因となります。

●日本国以外では使用しないでください
この装置は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

■その他：こんなことにも注意してください

- 静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。
- 水けの多い場所での使用/保管はしないでください。本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。

■電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- ●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

使用周波数帯域 :2.4GHz
変調方式 :周波数拡散方式 FHSS(Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離 :約10m(障害物のない場合)
周波数変更の可否 :全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。

- ●本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- ●周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。
- ●リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

■廃棄について

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

困ったときは・・・

基本操作、ペアリング時

電源が入らない
本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

Bluetooth搭載機器とペアリングできない
①接続先機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。
ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度ペアリングモードにして設定する必要があります。
②ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。
③電源ONの状態でマルチファンクションボタンと音量調整ボタン [+] と [−] を同時に8秒以上押してください。
赤LEDが点滅したら、リセット完了です。
④接続相手から本製品の登録情報を削除(または解除)し、再度ペアリング(初期登録)からお試しください。

携帯電話利用時

着メロ/着信音が聞こえない
着メロが設定されていても、ヘッドホンからは通常の呼び出し音が聞こえます。携帯電話に設定した着メロは利用できません。また、携帯電話の機種によってはBluetooth設定の「ハンズフリー着信鳴動」を鳴らすように設定(「接続相手も鳴動」などに設定)する必要があります。

着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない
一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。
また、携帯電話側で「ハンズフリー」や「ヘッドセット」のいずれかで接続するように選択肢が表示された場合は、「ハンズフリー」で接続をしなければ、マルチファンクションボタンを押しても着信が取れない場合があります。登録時にこのような選択肢が表示された場合は「ハンズフリー」で接続をするようにしてください。

着信前に留守番転送されてしまう
着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

通話相手に自分の声が聞こえない
一部の携帯電話では、ヘッドホンのマイク入力が有効になるように手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドホンのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。
また、マイクの向きを口元に向くように装着してください。

その他

ノイズやエコー音が入る
ペアリング相手との距離を変えてみる。音量を調節してみるなどをお試しください。

パソコンでの使用時に音量が調節できない
一部のアプリケーションでは、音量をパソコン側で設定する場合があります。パソコンの設定を確認してください。

ユーザーサポートについて

■製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only.No technical support is available in foreign languages other than Japanese.
よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。
【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコムAVDサポートセンター
TEL：0570-022-022
FAX：0570-050-012
[受付時間]
月～土 10:00～19:00 ※夏季、年末年始、特定休業日を除く(祝日営業)

ホームページでも詳細な接続手順を確認できます。

「えれさぽ」で検索してください。

お問合せの前に、以下の内容をご用意ください。
・弊社製品の型番
・ご利用の携帯電話、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などの型番
・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

保証規程

1. 保証期間
販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より 1 年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

2. 保証対象
保証対象は本製品の本体部分のみとさせていただき、ソフトウェア、その他の添付物は保証の対象とはなりません。

3. 保証内容
本製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証規定に記載された内容に基づき、無償修理または交換を致します。

4. 適用の除外
保証期間内であっても、以下の場合には保証対象外となります。
- 故障した本製品をご提出いただけない場合。
- ご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
- レシートまたは保証シールの所定事項(製品名、シリアルナンバー、その他)の未記入、あるいは改変がおこなわれている場合。
- お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
- 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
- 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
- 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
- 本製品のソフトウェア(ファームウェア、ドライバ他)のアップデート作業によって生じた故障、障害。
- 本製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、および注意書に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。
- 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
- 一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
- その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

5. 免責
- データを取扱う際にはバックアップを必ず取って下さい。本製品の故障または使用によって生じた、保存データの消失、破損等については一切保証いたしません。
- 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品に関して弊社が追う責任は、債務不履行および不法行為その他の理由の如何にかかわらず、本製品の購入代金を限度とします。

6. その他
- レシートまたは保証シールの再発行は行いません。
- 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
- 製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用負担をおこないません。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。

7. 有効範囲
本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。

ELECOM **保証書**

製品名　　★シリアルNo.(製品本体に記載)	保証期間
□ LBT-HS510	ご購入日から 1年間

★お客様ご記入欄

フリガナ
お名前
ご住所　〒　　　TEL (　　　)　　　-

☆ご販売店様

ご購入日
ご住所・店名・TEL・ご担当者名

※お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書に記載された期間、規程のもとに修理を致します。修理をご依頼の場合は、必ず本保証書を添付してください。また、保証書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。★印の欄は、お客様にご記入いただくものです。☆の欄は、販売店でご記入いただくものです。記入が無い場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

ご販売店様へ
お客様へ商品をお渡しするときは、必ず☆印の欄に所定事項をご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられませんのでご注意ください。

低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；
經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- N マークは合衆国およびその他の国で登録されている NFC Forum の商標および登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

Bluetoothワイヤレスヘッドセット　LBT-HS510シリーズ取扱説明書
2013年8月 2版